



シリーズ：沖縄のさかなたち 第6回

## タイマイ



ふーちゃんのトピックス

カンパチの幼魚を育てています



ふっくんのなんでもコーナー

カニが生まれるところをみたい!!

# タイマイ ~タイマイの<sup>こう</sup>甲らは金色~



写真1. 育てたタイマイの親ガメ（甲らの長さ75センチ、体重60キロ）

体重は100キロとウミガメの中では中ぐらいの大きさです。

タイマイの甲らは色やもようがカラフルできれいなため、古くからくしやかんざしなどの髪飾り、メガネのフレームなどの材料として利用されてきました（右ページのイラスト）。このようにタイマイの甲らを加工したものをべっ甲細工と呼びます。しかし、世界中でその原料や食用としてとり

「沖縄のさかなたち」の最終回は、童話の中で浦島太郎を竜宮城へ案内したウミガメの仲間についてご紹介しましょう。

きれいなサンゴ礁に囲まれた沖縄の海には、タイマイ（写真1）、アカウミガメ、アオウミガメの3種類が住んでいます。タイマイは最大で甲らの長さが約1メートル、

過ぎたこと、産卵しやすい砂浜が減ったことなどで、タイマイの数が少なくなり地球上からいなくなることが心配されています。このため、生きたタイマイはもちろん、甲らの輸入や輸出も禁止されています。

そこで、水産総合研究センターでは1999年からタイマイの数を増やすための研究を



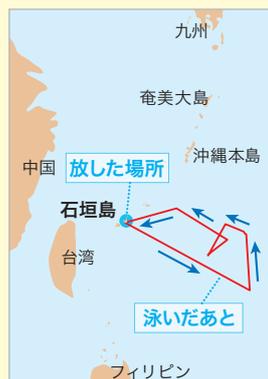
あんじい  
の  
ポイント  
アポイント

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

## 海へ放したタイマイの移動

3年間育てたタイマイに発信器をとりつけて海へ放し、どこにいるのかを人工衛星で調べたのじゃ。石垣島で放したタイマイは元気に泳ぎまわり、約1,800キロを泳いで、231日後に石垣島へ戻って来たことが初めてわかったんじゃよ。

➡ 発信器（矢印）をつけたタイマイ





べっ甲細工

行っています。まず、特別に許可を受けてとった、甲らの長さが約 50 センチの若いカメたちを親ガメに育てることから始めました。そして、育て始めてから 5 年後の 2004 年に初めて 2 頭のメスが合計 894 個の卵を産みました。さらに 2006 年から 2009 年まで、日本では初めて 4 年連続で卵がとれました。

卵は直径約 3 センチで、ピンポン玉のように白くまん丸です。卵のカラは硬くなく、さわるとぐにゃぐにゃとやわらかいです。ふ化した赤ちゃんは、甲らの長さが 4 センチ、体重はわずか 16 グラムしかありません (  「チェック」)。これを育てたところ、1 年で甲らの長さは 30 センチ、体重は 2.7 キロに、2 年で 42 センチ、7.5 キロ、3 年で 47 センチ、11 キロに育つことがわかりました。

現在、天然のタイマイの生活や行動はよくわかっていません。このため、水そうで育てたタイマイは、海に放した後の行動を調べる研究などにも使われています (  あ



写真 2. 水そうで元気に泳ぐタイマイのこどもたち (甲らの長さ 5 センチ)

んじいのワンポイントアドバイス)。また、子ガメを育てて、その甲らをべっ甲として利用するため養殖試験にも取り組んでいます (写真 2)。今では天然に負けない金色のきれいな甲らを持つタイマイが育てられています (写真 3)。

(文：與世田 兼三)



写真 3. 天然に負けない金色のきれいな甲らを持つタイマイ (甲らの長さ 40 センチ、卵から育てて 3 年)



## タイマイのふ化



カラがやぶけて頭が出ました



やっと前足が外に出ました



がんばってふ化した赤ちゃん



ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

# カンパチの幼魚を育てています



卵から育てたカンパチの幼魚(全長8センチ)

お寿司などで人気のあるおいしいカンパチの養殖が増えていきます。しかし、養殖するための幼魚のほとんどは、外国でとれ

た天然のものを輸入しています。その一方で、天候や漁の影響が少なく、いつでも手に入られる安くて安全な国産の幼魚が欲しい、という声が増えてきました。

そこで、水産総合研究センターは大学や県の研究所、水産会社などと協力して、カンパチ

の養殖用幼魚を育てる研究をしています。今では、外国から輸入した天然の幼魚の成長に負けないカンパチができるようになってきました。

背中から見ると、頭の模様が漢字の「八」の字に見えるので、間八(カンパチ)と呼ばれる。



東京都の小学6年生からのリクエストです

## ふっくんのなんでもコーナー

どんどん質問してね。ぼくが答えるよ!

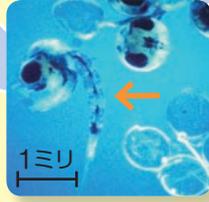
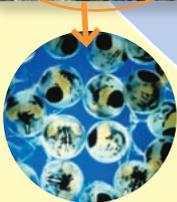


# Q カニが生まれるところをみたい!!

A ケガニで紹介するね! 卵から生まれるまでは、お母さんが大事におなかにかかえているんだ。赤ちゃんは卵の中で十分に育つと、自分でカラをやぶって海へ飛び出していくんだ。この赤ちゃんはゾエアと呼ばれ、親とはぜんぜん違う形をしているんだ。



おなかにかかえた卵のかたまり(矢印)と卵の拡大写真



卵から生まれたばかりの赤ちゃん(矢印)



30日後

だっぴ脱皮してりっばなツノをもったゾエア

さらに20日後



カニの形に近くなったメガロバ

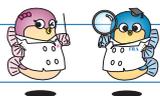


やっとおに似てきたかな?(子ガニ)

7年以上!!



食べる大きさのケガニ



ふーちゃん(左)とふっくん(右): あんじい仙人のもとで修行している研究員です

## おさかな瓦版 No.33 (2010年2月発行)

編集・発行: 独立行政法人 水産総合研究センター  
お問い合わせ先・質問のあて先: 広報室  
〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3  
クイーンズタワーB 15階  
TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702  
ホームページ <http://www.fra.affrc.go.jp>

さかなやエビ、カニなど水産の動物や海藻でわからないことがあったら、かいまろ広報室までハガキで送ってください。<聞きたいことの内容>、<学年あるいは所属>、<住所>、<氏名>を忘れずに書いてね。ふっくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



タイマイの親ガメ